



わたしとボローニャ



さぶさちえ

はじまり

2023年1月に入選がわかり、20歳くらいから、ずっと憧れだったボローニャ入選だったので、ただただ嬉しかったです。イタリア行きは即決！初めてのイタリア！ボローニャでの開催場所も分からず、勢いよく予約したホテルの場所はフィレンツェだったり、怒涛な1年の始まりでした。

まずは、旅と売り込みの準備に追われました。アポを取るのに200通送ったメール。ギリギリまで悩んだダミー作り、ボローニャに行く同志で連絡を取り合ったり、申し込みしたり、とにかく不安でしかなかった。でも動くしかなかった。

不安だったホテル問題はギャラリーの方と部屋をシェアすることに。1日だけフリーのフィレンツェ観光も全てお任せ。ここだけは安心でした。



憧れのボローニャ

ボローニャブックフェアの当日は不安を抱えて現地に着きました。壁に、たくさんの売込みポスターを貼りつけスタートです。売込みの重い荷物を背負って1日2万歩 歩いて、そして想像していた通り、言葉の壁！日本人を見つけては話してホッとしたり。でも言葉は通じなくても作品をみて「綺麗！」と驚く姿に励まされたりしました。疲れと、時差ぼけで体はボロボロ。テンションで乗りきった感じでした。

3日目の授賞式が終わり、一緒に受賞して現地にいった3人でほっとしたのか涙。

食べもの

コースで食べた料理は1人分とは思えないくらい多く、ラザニアもティラミスも大きく美味しかったです。ジェラートは美味しくて5回くらい食べました。イタリア食事時間があり、ランチは14時から。ディナーは20時と聞きました。そのタイミングが難しかった。カフェタイムで食べたティラミスも美味しく、スーパーで買った量り売りの生ハムも最高。惣菜も美味しかったです。



受賞して

1年を通して、いろいろ経験しました。美術館での展示、ワークショップで先生をしたり。グッズを製作、販売。板橋美術館でのワークショップはボローニャの審査員だった作家さんの講義で、こり固まった頭をほぐしてくれました。板橋中央図書館での展示、板橋祭りに参加したりと、初めてづくしな1年でした。

受賞して一番よかった事は、何より心強い仲間や、たくさんの方に出会えた事が一番の実りでした。いろいろな刺激もあり、やりたい事がさらに増えました。今、できる事を止まることなく情熱を持って、これからも作品を作り続けたいと思います。

